

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	校外学習バス運営事業			会計	款	項	目	大	小
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	教育総務課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	根本 政廣				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小・中学校の児童生徒	意図	児童生徒等の校外学習の安全な移動手段を確保するため、バスを借上げ各施設間等の移動手段に使用する。
事業内容	小・中学校の児童生徒等の校外学習において、限られた時間の中で効率よく安全に施設間を移動するため、バスを借り上げ移動手段を確保する。			
事業開始から現在までの状況変化	小学校3，4年生の校外学習を中心とし、その他、特別支援学級からの要望に対応している。校外学習バス運営委託契約において、債務負担行為を設定し、平成28年度から30年度までの単価契約を締結している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	実施率	100	100	100	%	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
児童生徒等の校外学習の安全な移動手段を確保するため、校外学習バス運行委託契約を締結し、各施設間等の移動手段に使用している。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	9,357,726	8,639,984	10,317,560
事業費(b)(円)	6,868,476	7,342,164	7,894,800
うち一般財源	6,868,476	7,342,164	7,894,800
職員給与費(c)(円)	2,489,250	1,297,820	2,422,760
人役・職員(人)	0.33	0.11	0.28
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	0.20	0.50	0.50
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	バスの増車について、予算との関連も含め、一定の範囲内で実施していく。	③取組における課題(Check)	バスの増車について、予算との関連も含め、一定の範囲内で実施していく。
②H30に実施した取組(Do)	小学校の3，4年生の校外学習を中心とし、その他、特別支援学級からの要望に対応した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	小学校の3，4年生の校外学習を中心とし、その他、特別支援学級からの要望に対応する。